

第27回環境自治体会議 全国大会

2019

東京会議

in足立

手をつなぎ、持続可能な地域づくりを
次のステージへ

～SDGs達成に向けて地域からできること～

2019 **5/20日・21日**

会場 東京電機大学 東京千住キャンパス
(東京都足立区千住旭町5番)



—参加・申込のご案内—

主催 環境自治体会議

協力 東京都足立区 東京電機大学

ごあいさつ

各地から花の便りが聞かれる頃となりました。皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、第27回環境自治体会議全国大会2019東京会議 in 足立の開催を皆様にお知らせするはこびとなりました。

自治体環境政策は今、2015年に相次いで採択されたSDGsやパリ協定、そしてこれらにともなう国や民間事業者の動きを受け、大きなうねりの中にあります。環境政策や持続可能な地域づくりを進展させるためには、これまでとは異なる課題のとらえ方やアプローチが必要であり、自治体同士が、あるいは自治体と各セクターが戦略的に手を結び、新たな力を得て取り組むことが有効と考えられます。こうした意味においても、環境自治体会議は1992年の発足以来ともいえる大きな転換点を迎えています。

本大会のテーマは「手をつなぎ、持続可能な地域づくりを次のステージへ～SDGs達成に向けて地域からできること」としました。新しい、複雑な課題に立ち向かうために有効な連携のあり方、地域発の取り組みの可能性を探り、各地域の活力となる成果を得られる大会となることを願っております。

お一人お一人が「主役」として、多くの皆様にご参加いただけますよう、心よりお待ちしております。

2019年3月吉日

第27回環境自治体会議全国大会2019東京会議 in 足立 事務局（環境自治体会議事務局）

事務局長 小澤はる奈

環境自治体会議会員 2019年3月1日現在

[正会員]

北海道	ニセコ町	茨城県	ひたちなか市	福井県	勝山市	愛媛県	内子町
北海道	東神楽町	茨城県	那珂市	福井県	あわら市	高知県	檮原町
北海道	東川町	茨城県	行方市	長野県	飯田市	福岡県	柳川市
北海道	斜里町	茨城県	東海村	岐阜県	多治見市	福岡県	古賀市
北海道	士幌町	東京都	足立区	三重県	松阪市	福岡県	大木町
山形県	金山町	東京都	福生市	京都府	八幡市	熊本県	水俣市
山形県	高島町	東京都	小笠原村	大阪府	豊中市	宮崎県	綾町
山形県	遊佐町	新潟県	魚沼市	大阪府	交野市	鹿児島県	日置市
茨城県	古河市	新潟県	湯沢町	奈良県	生駒市	鹿児島県	屋久島町

[準会員]

山形県	白鷹町	岐阜県	美濃加茂市	愛知県	安城市	鳥取県	北栄町
茨城県	茨城町	岐阜県	御嵩町	愛知県	新城市	岡山県	矢掛町
茨城県	境町	静岡県	掛川市	奈良県	奈良市	岡山県	西粟倉村

1. プログラム

1日目 (5月20日・月)

	プログラム	会場
14:00	受付開始	1号館2階 (丹羽ホール前)
15:00	開会式	1号館2階
15:30	首長パネルディスカッション 「自治体間連携で実現する地域からのSDGs達成」	丹羽ホール
17:15	論点提起 「メインテーマの紹介と今回会議が目指すもの」	
18:00	交流会	1号館1階 100周年ホール

2日目 (5月21日・火)

	プログラム	会場
9:00	開場	5号館2階
9:30	分科会	
	①やらなきゃならない? どう取り組む? 地域発SDGs	5202 セミナー室
	②今こそ本気で考える、気候変動への適応と防災	5203 セミナー室
	③公共施設・インフラの低炭素化、適正管理の戦略	5204 セミナー室
13:00	昼食	
14:00	一般発表/企画セッション	5202~5204 セミナー室
15:30	総括セッション	1号館1階
16:45	閉会式	100周年ホール
17:00	終了	

※会員自治体のみ 1日目 (5月20日・月)

	プログラム	会場
12:10	開場	1号館1階
12:30	首長昼食会	100周年ホール
13:00	2019年度 環境自治体会議 総会	
14:30	終了予定	

2. 各セッションの概要

※今後、登壇者や内容が変更になる可能性があります

首長パネルディスカッション

「自治体間連携で実現する地域からの SDGs 達成」

自治体間の横並び・競争を続けるには限界があります。これからは各地域の強みを活かした戦略的な連携により、環境政策・持続可能な地域づくりの取り組みを切り拓くステージに入っていくのではないのでしょうか。先駆的な試みに学びながら、新しい自治体間連携のあり方、可能性と課題を考えます。

コーディネーター 田中充（法政大学教授、環境自治体会議アドバイザー）

パネリストとして、会員自治体内外の首長の登壇を調整中。

第1分科会【SDGs】

「やらなきゃならない？ どう取り組む？ 地域発 SDGs」

2015年に国連で採択されたSDGs…国内でも耳にする機会が増えてきました。しかし地域政策との関係に悩んでいる方も多いのでは？ 地域づくりの中核にSDGsを据えて取り組みだした自治体や、企業と連携しながら地域課題へのアプローチに活用している自治体などの事例を学び、地域でSDGsに取り組む意義やその方法を考えます。

コーディネーター 蟹江憲史（慶應義塾大学教授、自治体SDGs推進のための有識者検討会委員）

パネリスト 片山健也（北海道ニセコ町長）
SDGs 未来都市に選定。未来都市計画の構想、SDGs の考え方を地域にどう浸透させていくのか。
牧野百男（福井県鯖江市長）
独自に地域版SDGsへの取組に着手。どのような手法で地域SDGsの取組を実践していくのか。どのような効果が見えつつあるか。
金丸治子（イオン株式会社 環境・社会貢献・PR・IR 担当付 担当部長）
企業活動の中でSDGsに取り組みつつ、近隣自治体の取組を支援している事例。

ほか

第2分科会【気候変動適応・防災】

「今こそ本気で考える、気候変動への適応と防災」

毎年のように大規模災害が発生する現実からは、気候変動の影響を意識せざるを得ません。昨年6月には気候変動適応法が公布され、自治体には地域適応計画の策定が求められています。迫りくる気候変動の危機をどう捉え、どのように計画に落とし込むべきか、市民と共に日常で取り組めることは何かなどを掘り下げます。

コーディネーター 白井信雄（山陽学園大学教授、環境自治体会議アドバイザー）

パネリスト 嶋田知英（埼玉県環境科学国際センター 研究推進室副室長）
気候変動の影響予測、予測データを活用した政策立案の手法と留意点について。

野口正明（NPO 法人ふじの里山くらぶ 理事）

相模原市藤野地区における、地域住民が主体となって気候変動適応策の検討を実施した「気候変動の藤野学」について。

池上三喜子（市民防災研究所）

市民の自助・共助による地域の防災力を高めるために必要なこと。

ほか

第3分科会【ストックマネジメント】

「公共施設・インフラの低炭素化、適正管理の戦略」

大部分の地域が減少人口の時代を迎え、公共施設やインフラを適正に管理することが喫緊の課題になっています。単なる統廃合ではなく、環境に配慮しつつ長く愛される施設管理のあり方とは？生活インフラの老朽化にどう備え対応していくか？など、環境行政から発信できることを踏まえて考えます。

コーディネーター 村上公哉（芝浦工業大学教授）

パネリスト 青木大（東京都中野区）
環境省カーボンマネジメント強化事業を活用したESCO事業の取組手法とその成果。

大塚拓（静岡県藤枝市）

公共施設総合管理計画と連動した公共施設の低炭素化の取組について。

神谷淳一（武蔵野クリーンセンター）

焼却施設を中心とした周辺公共施設の低炭素化、市街地に位置する焼却施設としての環境配慮のあり方。

伊藤雄二（公益財団法人日本下水道新技術機構）

下水道ストックの老朽化予測情報をもとにした計画手法、管理計画の策定と運用に取り組む実例について。

3. 昼食・交流会

1日目（5月20日・月）

昼食・・・「会員首長昼食会」に申し込んだ方のみにご用意します（対象：会員首長）。
随員の方は、恐れ入りますが各自でご用意ください。

夕食・・・「交流会」に申し込んだ方のみにご用意します。立食形式の会になります。

※対象：全参加者

2日目（5月21日・火）

昼食・・・近隣の飲食店をご利用ください。

北千住駅の周辺には飲食店が多数ございます。

大学の授業期間中につき、学生食堂の利用はご遠慮ください。

会場に持ち込んだ飲食物等のごみは、各自でお持ち帰りください。

できるだけマイボトル・水筒をご利用くださいますようお願いいたします。

4. 一般発表および企画セッション

持続可能な地域づくりに関する研究成果や取り組み事例に関する発表を、研究機関、企業、NGO などから広く募集します。「一般発表」は単発（15～20分程度）の発表、「企画セッション」は80分程度の枠内で規格車が自由にテーマ・形式を設定して進行するものです。

参加者は事前申込なしで、関心のあるプログラムを聴講することができます。発表（企画）者と内容は4月下旬に送付する「参加申込確認書」でお知らせします。

《発表・企画の申込方法》

発表・企画を希望する方は、①代表者氏名・所属、②希望種別（一般発表または企画シンポジウム）、③発表（またはシンポジウム）タイトル、④発表概要（200字程度）、⑤連絡先電話・メールアドレスを明記し、次の宛先にお申し込みください。

◎申込先：環境自治体会議 事務局 メール info.colgei@gmail.com

《費用》

		金額	内訳
一般発表	会員	10,000円	大会参加費1名分、資料掲載1ページを含む
	会員以外	20,000円	
企画シンポジウム		100,000円	大会参加費5分、資料掲載10ページ以内を含む

お申込みいただいた方には、4月下旬に「参加確認書」と「請求書」を送付します。

5. 参加申込および参加費支払方法

《申込方法》

別紙参加申込書に必要事項を記入し、次のいずれかの方法でお申し込みください。

◎申込先：第27回環境自治体会議全国大会 2019 東京会議 in 足立 事務局
(環境自治体会議事務局内 担当：小澤)

①FAX：03-3263-9175

②メール：zenkoku2019.colgei@gmail.com

《申込期限》

2019年4月19日(金) 必着

お問い合わせ・ご相談は「環境自治体会議事務局」にお願いします。
足立区および東京電機大学へのお問い合わせはご遠慮ください。

《参加費等》(1人あたり)

	金額	内訳
会員自治体からの参加者	10,000円	大会運営費、資料代 (交流会費は別途)
環境政策研究所の会員	10,000円	
会員以外からの参加者	15,000円	
交流会費(一律)	5,000円	飲食費を含む

※一般発表、企画シンポジウム登壇を希望する方は、5ページをご参照ください

《支払方法等》

- 参加申込をされた方には、4月下旬に「申込確認書」と「請求書」を送付します。内容をご確認の上、期日までに指定の口座にお振込みください。振込手数料はお申込みいただいた方のご負担とさせていただきますのでご了承ください。
- 4月26日(金)までに「申込確認書」と「請求書」が届かない場合は、お手数ですが事務局までご連絡をお願いいたします。
- 請求書の宛名などのご希望は、お申し込み時に備考欄でお知らせください。
- 原則として、お振込時に発行される金融機関の控え伝票をもって領収証に代えさせていただきます。必要な場合には個別にご相談ください。
- 大会参加費の払い戻しは行いませんのでご了承ください。

6. 交通・宿泊のご案内

《宿泊について》

事務局では宿泊の手配・あっせんは行いません。お手数ですがご自身で近隣の宿泊施設をご予約ください。

《会場へのアクセス》

- 会場となる「東京電機大学 東京千住キャンパス」へは、各路線「北千住駅」から徒歩1分です。
- 北千住駅には、JR 常磐線、東京メトロ日比谷線、東京メトロ千代田線、東武スカイツリーライン（東武伊勢崎線－東京メトロ半蔵門線）、つくばエクスプレスが乗り入れています。
- 北千住駅「東口（電大口）」に出て 50m ほどの商店街を抜けると、右手バスロータリーの奥に見えます。
- 1日目全体会の会場「丹羽ホール」は、最もバスロータリーに近い建物（1号館）の2階、2日目分科会の会場「5202～5204 セミナー室」は、1号館の奥の建物（5号館）の2階です。バスロータリーを背にして左側の大階段を上がり、ルーフガーデンを利用されると分かりやすいです。
- お車をご利用の場合は、近隣のコインパーキングをご利用ください。



〔お問い合わせ〕

第27回環境自治体会議全国大会 2019 東京会議 in 足立 事務局
(環境自治体会議事務局内 担当：小澤)

〒102-0082

東京都千代田区一番町 9-7 一番町村上ビル 6階

電話：03-3263-9206 FAX：03-3263-9175

メール：zenkoku2019.colgei@gmail.com

HP：http://www.colgei.org/

Facebook：https://www.facebook.com/colgei/?ref=bookmarks